

平成 16 年 12 月 10 日

各 位

東京都千代田区麹町一丁目 4 番地
松井証券株式会社
代表取締役社長 松井 道夫
(東京証券取引所第一部：8628)
問合せ先：取締役社長室長 雨宮 正人
TEL：03(5216)0818

松井証券と UBS 証券による 資金調達と販売に関する新スキームの導入について

松井証券は、UBS 証券会社と協力して、従来から行われている株式の公募・売出しとは異なる資金調達と販売に関する新たなスキームを導入します。

新スキームの概要としては、まず新株等の発行による資金調達を行う企業がある場合、UBS が全額買受けることを条件に、当該企業は第三者割当転換社債型新株予約権付社債 (CB) を発行し、資金調達を行います。次に、UBS は、投資家のニーズや当該企業の株式の需給関係等を考慮しながら、買受けた CB を段階的に株式に転換していきます。この転換された株式は、一定期間 (販売予定株数がなくなる日まで)、当社を通じて個人投資家 (当社顧客) に販売されます。その際、当社顧客による当該株式の購入価格 (株価) は、基本的には購入日の終値から数%ディスカウントされた価格になります。

これにより当社顧客は、従来の株式の公募・売出しと異なり、その時々々の株価動向を見極めながら自分の好きなタイミングで当該株式を時価よりも低い価格で購入することができるようになります。加えて、購入決定から売却可能となるまで 1 週間程度を要する従来の株式の公募・売出しと異なり、新スキームでは購入日翌日からの売却が可能となりますので、価格変動リスクを大幅に軽減できます。なお、当スキームの導入により、これまで機関投資家しか参加できなかったブロックトレードに個人投資家も参加できるようになります。

流通市場においては、平成 11 年 10 月の手数料自由化以降、手数料の安いオンライン証券が出現したことで、証券会社間での競争が促進され、現在は個人株式売買代金の 8 割以上がオンライン経由の取引となる等、市場構造の変革が行われてきました。それにより、株式取引における個人投資家の利便性は格段に高まったと考えます。

一方、発行市場においては、依然として一部の証券会社の寡占状態にあり、流通市場で繰り広げられているような証券会社間の本格的な競争は行われてきませんでした。このように競争がない市場では、業者側 (証券会社) の意向が強く反映され、発行体企業や個人投資家の利便性は大きく損なわれてきたと考えています。

今回、外資系証券の UBS 証券とオンライン専門証券の松井証券が協力することで、発行市場の現状に風穴を開け、業者側ではなく、発行体企業や個人投資家にとって真に使い勝手の良い市場にしていきたいと考えています。

松井証券は、今後も発行体企業・個人投資家の視点に立ったサービスの拡充に努めます。

以上